



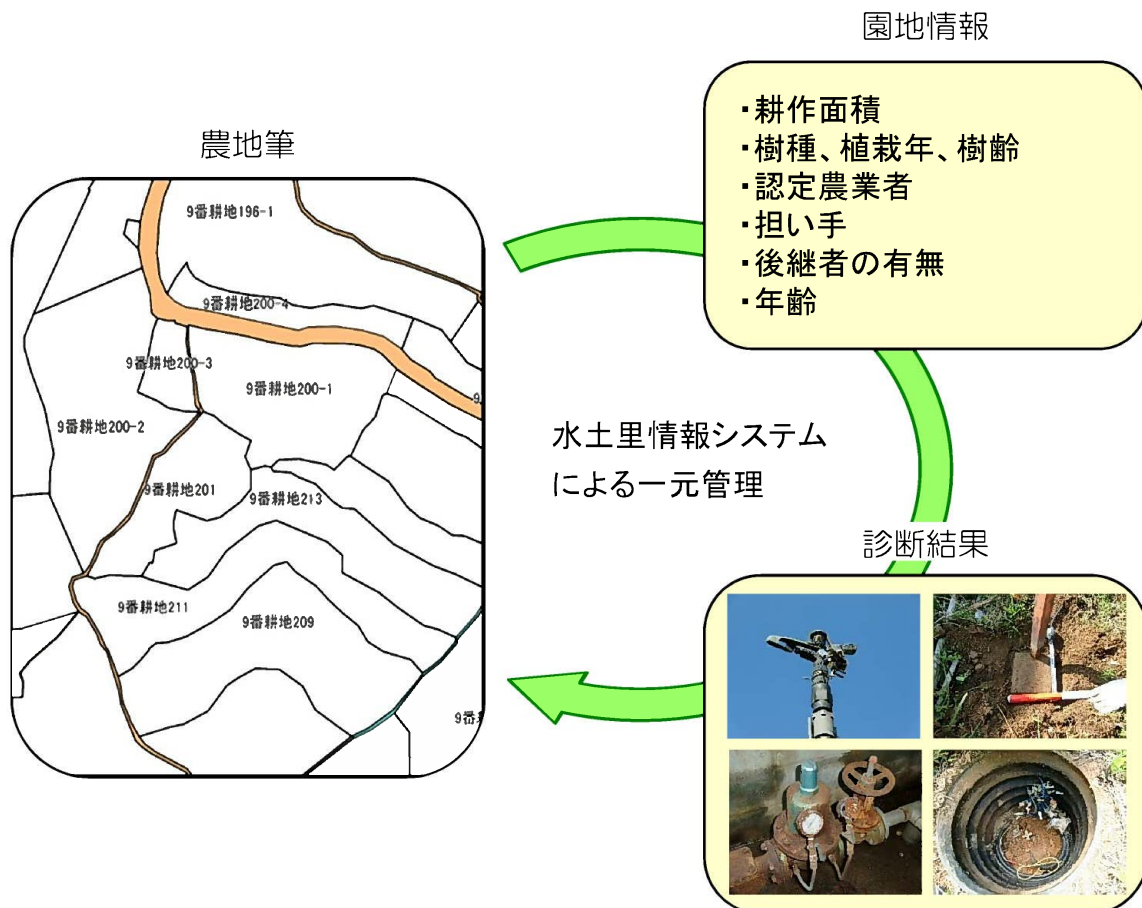
畑かん施設の合理化整備構想に水土里情報を活用している事例を紹介します。

今回紹介する団体：水土里ネット愛媛、八幡浜市、伊方町

取組概要

内容：樹園地の耕作者に年齢、後継者の有無、耕作放棄地及び樹種等のアンケート調査を行い、これらの園地情報を水土里情報で整備した農地筆に入力し、担い手への集積計画を加味した畑かん施設の合理化整備構想の作成に水土里情報システムを活用した。

- 経緯：①畑かん施設の相当数は、建設から数十年経過し、老朽化が進行している。
②これらの施設管理には紙媒体(施設台帳、現況平面図等)を利用していたため、施設の諸元・位置の確認に時間と労力を要していた。
③このような背景から、畑かん施設の診断結果や補修履歴等の情報と園地情報を一元管理することにより、施設の合理化整備を効率的に計画できる水土里情報システムを構築した。



活用イメージ

施設

	国内幹線水路
	国内支線水路
	空気弁
	排泥工
	電磁弁
	電動ボール弁
	給水栓
	減圧弁
	制水弁
	大円全クーラー
	大円半クーラー
	小円全クーラー
	小円半クーラー

受益

	更新受益
	更新済受益
	受益界
	受益界(ハウス)

期待される効果

診断結果や補修・補強履歴等の情報を蓄積・分析することによって、施設の性能低下の要因など状況把握が可能となり、適切な対策工法の検討や合理化整備計画の策定など、更新事業の推進が図られる。

今後の活用予定

県内には、図面・台帳等を紙媒体で管理している市町村や土地改良区も少ないため、これらの団体等に対して水土里情報システムを活用し、事務の効率化が図れるよう推進していく予定。

■お問い合わせ先

愛媛県土地改良事業団体連合会 水土里情報センター

089-927-7611(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝)

03-6744-2201(直通)